



令和2年 3月

黒浜西小 保健室

令和元年度第2回学校保健委員会を開催しました。

先月(2月20日)、さいたま市で助産師をされている千島洋子さんを講師に招いて**6年生を対象に、生と性の教育「つなぐ・命のつながり」の授業を実施**しました。多様な性と個性、第二性徴、受精卵から出産の話、命のつながり、助産師の仕事等について、パワーポイントの写真やイラストを見ながらお話をお聞きしました。授業の最後に6年生は赤ちゃん人形(50cm、3kg)をだっこする経験をしました。とても明るくテンポよく、ユーモアを交えた楽しい授業でした。児童の感想と参観した保護者の感想の一部を紹介します。



### 6年生児童の感想から

- ・ 毎日赤ちゃんが見られるのがうらやましいので、助産師に興味を持った。
- ・ 命の誕生を助ける仕事はカッコよくて大変な仕事だと思った。
- ・ 赤ちゃん人形をだっこしたとき、意外と重くて妊婦さんは大変だと思った。
- ・ 赤ちゃんが生まれるときは、お母さんが大変だと思っていたら、赤ちゃんも苦しい思いをしていると知って命の大切さを実感した。
- ・ 生まれるときは、赤ちゃんが自分で合図を出したり、出やすいように頭の位置を変えたりして、自分で出ようとしている事を知って、賢くてすごいなと思った。
- ・ 受精卵はとても小さいのに細胞分裂して人間になるなんてすごいと思った。
- ・ みんな違ってみんないいと、話していたのが印象に残った。
- ・ 性は1つだけだと思っていたけど、いくつかあると知ってびっくりした。
- ・ 心の性と体の性が違う人にもし会った時は、その人のことを受け入れられるような人になりたい。
- ・ 最近自分の体の変化に不安や疑問を感じていたが、生きていくうえで体の成長の変化はとても大切である事がよく分かった。
- ・ 一番印象に残ったのは、「自分が今生きているのはご先祖様のおかげ」と、話していたこと。自分の命を大切に、感謝して生きていきたい。
- ・ 赤ちゃんを生むときの写真を見て、痛そうなのに赤ちゃんに会えるうれしさで笑っていたのが印象に残った。頑張ってくれた母親に感謝をしたいと思った。

### 参観した保護者の感想から

- ・ 「性」や「命の誕生」について親にとっても、ためになり、改めて「個」を「命」を大切にすることを意識できてよかった。
- ・ 子どもがお腹にいて産まれた頃を思い出した。児童にも命の大切さが伝わったと思う。
- ・ デリケートな事も正しくわかりやすく教えてもらったので、すんなり頭と心に入ってきた。
- ・ 笑いを交えた素晴らしいお話で「大切」、「守る」などのワードが重く深く心に響いた。これから思春期を迎える息子達と主人と家族みんなで性のこと、体のこと、産まれてきてくれた時のこと、いろいろ話したいなと思った。
- ・ 性の話を親子ですることがあまりないので、どのように話したらよいか分からないが、今日のお話は、とても明るく「自分の成長を喜んで!」という印象が素敵だったので、忘れないようにしたい。参考になった。
- ・ 「生きている意味」、「多様な性があってみんな違う」、「体のプライベートゾーン」、「自分をほめて生きよう」等、とても勉強になった。
- ・ 自分は時代的にきちんと学んでいなかったもので、興味深く聞いた。
- ・ 講師のお話はおもしろく、テンポよく楽しくて、とてもわかりやすかった。